

第11次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲



写真左は調査区西側。7軒の住居址と溝がみられる。
(所蔵：三浦市教育委員会)

いつ（調査期間）

平成5(1993)年7月22日～9月6日

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ24番 1

調査面積 350㎡

調査原因 深耕事業(天地返し)に伴う調査

主な遺構 住居址16軒 溝状遺構4条 土壇

主な遺物 弥生土器（壺形土器・深鉢形土器・鉢形土器）・縄文土器・磨製石器・敲石・鉄斧・ガラス製小玉・炭化米・炭化種実

特記事項

住居址の1軒は弥生中期宮ノ台期のもので、他の15軒は後期の住居址である。溝はいずれも住居址の覆土中を掘り込み、溝の覆土中から後期の土器が出土しており、弥生時代の遺構と考えられる。1軒の住居址覆土より縄文早期と推定される尖頭石が出土しており、本遺跡は弥生時代以前の遺物の出土も多くこの地域の連続性を知るうえで貴重な発見である。また、同じ住居址より炭化米などが検出されており生業を知るうえで重要な発見である。(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第17集・2006年3月』)



壺形土器

(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第17集・2006年3月』)



深鉢形土器

(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第17集・2006年3月』)



**検出された住居址。弥生時代後期の久ヶ原期のもの
(所蔵：三浦市教育委員会)**